

Panasonic

今日は島に、  
お店をお届けします。



離島で暮らす

お年寄りの方にも、

新しいモノとふれあう

喜びをお届けしたい。

私は、街のでんき屋です。

船の行く手に見えるのは、気仙沼大島。  
私が震災にあつたのも、あの島にいたときでした。  
東北地方最大の離島とはいえ、  
住む人は年々減り、その多くはお年寄り。  
いますぐ最新の電気製品を必要とされる方は、  
そんなにいらっしゃらないかもしれません。  
それでも、真新しい冷蔵庫に洗濯機に  
デジタルカメラにビデオ家電...  
店開きできるほど大量の商品をフェリーに積み、  
気仙沼港から大島へと向かいます。

私は、思うんです。  
人間はいくつになっても、新しいモノやコトと  
ふれあうって、喜びじゃないでしょうか。  
若い人ならネットで世界を広げることが  
できますが、お年寄りの方はそういきません。  
船ですと、外出するのも難儀になります。  
私は、そんな離島のお年寄りの方にも、  
イキイキとした「いま」という時代を  
お届けしたいと思うのです。

フェリーで何往復もして運んだ  
電気製品は、ほとんどが  
持ち帰ることになるかもしれませんが、  
でも、それでもいいです。  
杖をついたり、エプロン姿で駆けつけてくれた  
島のおじいちゃんやおばあちゃんが、  
新しい家電を試しているときの、  
子供みたいなワクワクとした表情。  
私も震災で店を失くしましたが、  
辛いことを心のなかに押し込んでいた方々が、  
少しでも元氣に向かってくれるのが、  
いちばんうれしい。  
三年ぶりに家電フェアを復活でき感無量です。  
この島に暮らす方がいる限り、  
来年も再来年も、そして息子の代になっても、  
島へと渡り続けます。

東北の  
街の元氣屋  
になる。

パナソニックの店

